

2024年7月6日 ～鹿曲沢(蓼科山北面)～

メンバー:L 谷内、岩田、村中、伊藤、森田、小嶋(記録)

蓼科山北面に源流を持ち、東御市に流れ千曲川に合流する沢です。蓼科山の裏側(茅野市から見て)は全然知らなくて、「リゾート地蓼科」って広いんだなと思いながら廃墟別荘地を通ったり、崩壊した林道をくぐったりしながら入渓点に向かいました。この廃墟や崩壊した道には、バブル時代の栄えていた頃を想像できるようなものが残されており、時代の流れを感じることができました。寂しいけど、冒険心をくすぐられるような感覚になり、楽しかったです(写真1)

7月6日は梅雨真っ只中…だけど、雨は何とか耐えそうってことで出陣しましたが、いざ沢の様子を見ると水量の多いこと！足の短い私は、初手からほぼ全てを濡らしながら進みます。ドボンと落ちて、ぷかぷか浮くこともできました(楽しい)。

そして、今回の山行で一番印象深かったのは、滝の数です。登ったと思ったら、またもや滝が現れる！びちょびちょでシャワークライミングを体験することができました。これまでの山行は正直「もう滝終わりかー」とか思ってしまいましたが、今回は初めて「もう滝は大丈夫です。満足しました、寒いです。ナメが恋しい..」と思うほどでした(笑)帰って、記事を書いている今は、楽しかったことしか思い出せないですけどねー！

そして、倒木の数も多くて、木渡りもたくさんしました。(野生動物の気持ちになれた)数年前はこんなに荒れていなかったようで、沢の変化の激しさを感じました。

沢が終わり、林道までの藪漕ぎも集中して進みました。道の頼りになるのは、はるか昔の赤いペンキ。このペンキを見逃さないように進むことは難しかったです。

そんな感じで、スリリングで、ドキドキを感じながら進んだ山行でした。八ヶ岳の山域にこんな所があったとは…いい写真がたくさんあるので見てってください↓



写真1 廃道のトンネル(1人では怖くて来れない)



写真2 迫力満点



写真3 浮かぶかー(ザックって意外と浮く)



写真4 リーダーの足運びをよく見る



写真5 緑と滝が美しい



写真6 クリンソウ



写真7 木渡り

- 6:15 登山開始
- 9:45 大滝(小休憩)
- 11:00 ソーメン滝
- 12:00 登山終了

コースタイム

おまけ

今回はソーメン滝を見ながらソーメンを食べたかったのですが、不安定な天候のため断念。今度はリベンジするぞー！

変わりに、最近立て続けに嫌なことが起きていた筆者ですが、滝行をして悪運を取り払い、世界平和を祝ってきましたよー

